

会報

第 **50** 号
(2019/6/24)

〒720-0082
広島県福山市木之庄町 4-3-14
Tel&Fax:084-917-5937
Mail:info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance
Research Center

今後の予定



10周年記念事業の「A」案内

NPO法人コミュニティルネッサンス研究所

NPO法人コミュニティルネッサンス研究所は
2009年6月14日に設立総会を行い、2009年10月に
法人登記が完了しました。高齢者の生活のサ
ステナビリティに必要なものは何か?」を考え
ながら、現在まで様々な活動を行い、今年度で
10年を迎えることができました。

それを記念して 助け合いながら地域でく
らす」ことをめざした活動をしている3団体の
活動報告と講演会を開催します。

さらに、10周年を記念して、松永・沼隈・鞆
の歴史観光トレイル本も制作中です。



講演会「助け合いながら地域でくらす」

①日時: 2019年10月26日(土) 13時半より

②場所: 福山市民参画センター4階会議室

内容

③事例報告

1. 酒井良二さん(田尻の未来を考える会)
子どもから高齢者まで、町民全員が楽し
み、自走できる町へ(予定)

2. 三木知文さん(山野の未来を考える会)
高齢者と子どもが繋がるための一歩を
踏み出して

3. 門井千穂子さん
(御幸学区ボランティアセンター)
有償ボランティア」の仕組み作りに関わ
って

④講演

事例報告をふまえ、助け合いながら地域で
くらす」というタイトルの講演。

講師: 坂本 誠さん

元 全国町村会調査室長

現 鳥取大学地域学部非常勤講師

・ NPO法人ローカルブランドデザイン理事

「ケアの社会学」を読む会

6月27日(木) 16時半〜

場所: ルネッサンス研究所

参加費: 300円

読む本: 上野千鶴子著「ケアの社会学」

内容: 第5章: ケアに根拠はあるか」
(P. 105から)

シゴトノジ

6月28日(金) 14時〜

場所: ルネッサンス研究所

参加費: 300円

内容: 『コミュニティヘルスのある社会へ』
165ページから。
参加者は少ないのですが、毎回各々が
現在直面している高齢問題をどう考
えるか、の話で盛り上がっています。

今号の内容

- ・ 総会
- ・ お花見
- ・ こいまつり
- ・ ヤギとウサギがやって来た!
- ・ 編集後記

※内容は以下に記載

活動報告

総会が行われました



6月8日(土)午前10時より、NPO集会所にて総会が行われました。出席者28名(うち書面表決者14名)で審議が行われ、2018年度の事業報告および収支決算報告・監査報告、そして2019年度の役員改選および事業計画、10周年事業を含めた活動予算が満場一致で了承されました。

なかでも昨年度の事業では、「上手な転び方講座」で神戸大の先生を招き、歳を重ねることで身体がどう変化するかについての講義を行ったこと、そして実技では、運動も大事だが、「頭部を守ること」「自らすすんで転ぶこと」を心がけるのも大切だという事を学び、高齢者の転倒への関心と理解を深める場となったことについて説明がありました。また福祉と地域活動においては、昨年度も地域の絆の利用者さんと共にお祭りのステージに上がったたり、一緒にお花見に行ったりと様々な行事を積み重ねることにより、お互いの顔が見える関係となり、より交流が深まったエピソードも紹介されました。

今年度は役員改選。前役員の方々にはお世話になりました。なかでも、三浦さんには初代の代表理事を務めて頂きありがとうございました。新役員の方には、これから宜しくお願いします。



今年度の事業計画においては本NPOの10周年記念事業としてトレイル本を作成している事、また今年10月には「助け合いながら生きていく」と題して講演会を行う計画をしている事もあわせて報告がありました。また、例年の事業に加えて、今年度より「ちいきのいえ保育園」で飼育されている「動物の飼育の委託事業」を行うことも含めて次年度予算案が満場一致で承認され、総会を終えました。

総会後は事務局メンバーの紹介でひと言ずつ挨拶。その後は記念講演として、加納三千子副代表理事より「NPO 10年間のあゆみをふりかえって」と題して配布資料に沿ってこれまでのNPOの軌跡をふりかえりました。「トやモノなどの地域資源の活用」、地域の再生に関わる情報の収集と発信「福祉や地域作りに関する研究事業」の項目ごとに、10年間のあゆみとその果たしてきた意味を改めて考える機会でした。



「代表理事からは 自画自賛ですが10年間よくやってこれたと思います。地域に密着しながら人材を有効活用し、おもしろおかしく継続して展開しているとおもいます。これからも宜しく願います。」とコメントがありました。

その後は、昨年の総会で会員さんからいただいた「10周年記念は皆で昼食を食べてはいいかが」という提案を受けて、昼食のお弁当をいただきながら懇談しました。輪に囲んだテーブルのあちらこちらでお話の花が咲き、和やかなひとときを過ごしました。

お花見に行ってきました

4月3日水曜日、穏やかに晴れた青空の下でお花見を行いました。今年も地域の絆の利用者さん数名と一緒することができました。

この日の朝は、参加者一同NPOに集まり、卵焼きやエビフライ、お煮しめ等、皆で持ち寄った手作りのおかずを重箱に詰めました。また皆で協力しておにぎりを作り、コーヒーを準備してから会場の元短大キャンパスへ。

お花見の日程を決めた頃は、桜が既に散ってしまっているのでは？と心配していましたが、今年は意外と花の蕾が長持ちし、当日はまだ6分咲き。絶好のお花見日となりました。



送迎バスから降りて
まず、きれいな桜の花を観賞

さっそく桜の下にレジャーシートを広げてお花見席をセッティングです。続いて地域の絆の利用者さんも到着。ベンチを並べてお花を見ながらお弁当を食べられるよう座って頂きました。外の空気を吸いながら、しかも、きれいな花を眺めながらのお弁当の味は格別です。

さらに今年は、仁伍町内会長さんも自転車で駆けつけて下さり、一緒にお花見弁当を囲みました。町内会長さんの参加で、一段と話がはずみました。NPO事務員もそれぞれ子連れの参加で、今年も多世代交流のイベントとなりました。また来年も開催できますように。



みんなを持ち寄った
おいしいご馳走が、スラリ!

こいまつり

今年のこいまつりは、年号替わりの10連休のちょうど真ん中の5月3日。NPOのバザースタッフも人数が少なかつたため、今年の出店はリサイクルバザーに子ども向けの魚つり、くじ引きだけ。お客さん伍にこにこ合唱団。慶応の学生さんも、ステージと一緒に合唱。そして客席にいる利用者さんも、手拍子で楽しまれました。

村山さん、江藤さん、寶諸さん、ありがとうございました。



♪客席とステージの垣根を越えて、
皆で合唱♪

ヤギとウサギがやって来た!

このほどNPOのすぐ横に「ちいきのいえ保育園」という施設ができました。時々、小さな子どもたちの元気な声が聞こえてきます。また、園庭には飼育小屋が建ち、既にヤギとウサギが飼われています。まるで『アルプスの少女ハイジ』に出てくる子ヤギのユキちゃんのように。やんちゃで本当に可愛いです。おとなしい白ウサギも、だいぶ新しい環境に慣れたのか、たまにピョンピョン跳ねる姿に癒されています。

総会の記事でもふれましたが、この動物の飼育の委託事業は、今年度からスタートしました。NPOとしては、生きものを媒体として、地域の人々と子ども、そして高齢者をつなぐ」という役割の一端を担っているように感じます。

皆さまもお立ち寄りの際はぜひ可愛い姿をご覧下さい。



編集後記



この4月に息子は高校へ、娘は中学校へそれぞれ進学しました。最初は新しい環境に戸惑っていたようですが、二人とも少しずつ慣れてきたようで、元気に楽しく学校生活を送っています。

最近では親と過ごすよりも、お友達と過ごしている方が楽しいようで、これまではお祭りに行きたい!夜店に連れて行って!。」とせがんでいた娘も、今年は大勢のお友達とグループで夜店に行く約束をしたから、お母さんは付いて来ないで。」と、つれないことを言うようになりました。

先週、息子の高校の文化祭に行ってきました。1、2年生は教室での展示や出し物、3年生は流行の「タピオカドリンク」や「ナルネードポテト」などの飲食物の販売を行っていて、活気にみちあふれていました。息子はいつと、クラス展示の呼び込み宣伝をしたり、友だちと自由に校内を巡ったりしていたようです。普段は見られない生き生きとした息子の様子を、少し離れた位置からうかがえました。

どうやら今年のお祭りは、親の出番は財布の中身だけになりそう。子どもの成長を感じています。

(兼)

NPOへのお便り募集!

前号で「コムルネへのお便りを募集したところ、さっそくメッセージをいただきましたのでご紹介します。前号の「みそづくり」で講師としてお世話になった藤原さんからです。

楽しい味噌づくりの様子が表現されています。参加者、職員の皆さまの協力で楽しかったです。その時、時間があればみんなで歌おうと思いましたが、できなかったので伝えます。

「おはぎの歌」(もしもし亀よ、のフレーズで) ♪♪ ♪おはぎがお嫁に行くときは

あんこと黄な粉で化粧して

四角なお盆に載せられて

着いた所は応接間

♪♪♪

会報が届くのが楽しみです。最後の編集後記は大好きです。

とお寄せ下さいました。嬉しいメッセージをどうもありがとうございます。励みになります。

引き続き、コムルネへのお便りを募集します。ご感想・ご意見やニックネームなどをTEL・FAX又はメールアドレスにお寄せ下さい。

